

4月14日に多数の株が確認された。6月15日にはハマゴウ、テリハノイバラの生育が旺盛であった。その下でウンランが生育しており、7月14日生育は良好で多数の開花が確認できたが、7月31日から8月21日の間、まとまった降雨がなく、地上部が黄化した株が多く見られたが、ハマゴウの陰の株は干ばつの影響が少なかった。10月14日には夏場の乾燥による枯死後、再出芽した株や開花した株が見られたが、11月13日には開花株は見られず、1月16日にはほとんどの茎葉は枯死した。

7 保護区以外の状況

令和2年度ニホンカワウソ無人カメラ調査

生物多様性センター

国の特別天然記念物であり、本県の県獣に指定されているニホンカワウソは1975年に宇和島市九島で捕獲された個体以降、確実な生存情報はなく、愛媛県レッドデータ

(1)ナミキソウ自生地

5月14日から出芽した株が確認され、6月8日に開花が見られた。8月21日、7月31日から8月21日間、ほとんど降雨がなく、葉の黄化が見られた。11月13日は低温による黄化が始まり、1月18日には地上部が枯死した。

(2)デンジソウ自生地

12月16日、東予地域の3か所で確認。2か所が水田不耕作地、1か所が水田栽培後のほ場。気温の低下により、葉が茶褐色となっていた。

ブック(2014年改訂)では絶滅危惧1類と評価されている。なお、環境省はニホンカワウソを絶滅種として判断しているが、2012年以降、センサーカメラを設置し、撮影データの確認を継続している。令和2年度、ニホンカワウソもしくはニホンカワウソの可能性のある哺乳類は撮影されなかった。

令和2年度 ニホンカワウソ無人カメラ撮影状況

カメラ ナンバー	場 所	確認された哺乳類 種数	確認された鳥類 種数
1	南宇和郡愛南町(山中の溪流)	※釣り人	
2	南宇和郡愛南町(半島先の河口部)	イノシシ、ネズミ	2
			不明
			1